EC TeC 導入補助金2022

令和3年度補正 学びと社会の連携促進事業 (先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

効果報告レポート

【事業者名】

株式会社Blueberry

【ツール名】

GIGAプログラム

【ツールの機能分類】

発展的な学び

2023年2月





Blueberry キャリア教育 GIGAプログラム

GIGAプログラムとは?

- 多様な社会人講師による動画を活用し、様々な職種の仕事の楽しさややりがいに触れながら、 学校での勉強や生活が社会でどう活きるのか、学びを深めることができるプログラム
- より深く学びと社会のつながりを知ることや、**社会の変化の中で自己の将来像を考える**ことが目的
- 小学生には、主に学びと社会のつながりを伝え、中学生は進路を踏まえたキャリアの考え方にも触れる内容

GIGAプログラムの使用イメージ









GIGAプログラム利用料

150円/生徒一人ひと月当たり(AI診断・ワークシートつき)

GIGAプログラムの内容

小学生の動画内容

中学生の動画内容

仕事内容

仕事内容

学びと仕事

社会の変化

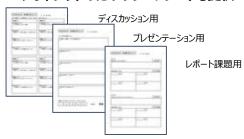
メッセージ

進路について

考えてみよう

考えてみよう

アウトプットのためのワークシートも提供





GIGAプログラムに登場する社会人講師

社会の第一線で活躍する、子どもたちに親しみやすい 20-30代の社会人講師

医師	宇宙研究者	水族館飼育係
デザイナー	建築家	ゲームクリエイター
税理士	AIエンジニア	起業家
スポーツ選手	食品開発者	イラストレーター
パイロット	映像クリエイター	漁師
自動車開発者	銀行員	CA
音楽家	ネイリスト	農業従事者
メディアプランナー	救急救命医	パティシエ
陶芸家	旅行プランナー	薬剤師
助産師	鉄道技術者	経営コンサルタント

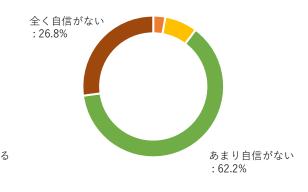


事前アンケートより(教員対象,n=473)

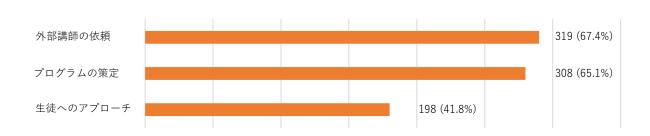
Q.1 キャリア教育の重要性は?

まあまあ重要と感じる : 14.0% とても重要と感じる : 83.7%

O.2 質の高いキャリア教育実施できている?



Q.3 普段キャリア教育を実施する上で難しさや大変さを感じることは? (3つまで複数回答可、TOP3を表示)



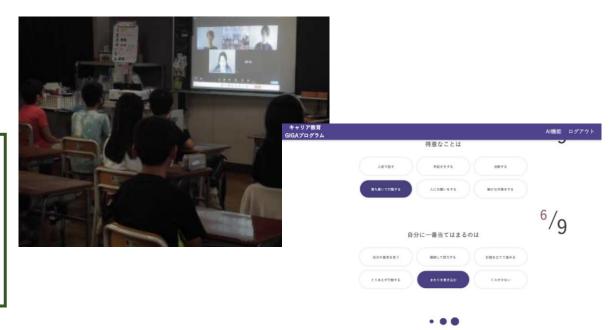
質の高いキャリア教育を求める学校、教員は多いが、 実際にはプログラムの策定や実行が難しく、 満足のいくキャリア教育を実施できている学校は少ないという現状の課題

"EdTech"を活用することで、現場教員の負担を減らしながら、 個別最適化の質の高いキャリア教育を実施することがBlueberryのプログラムの提供価値 ■ EdTech導入補助金2022における活用事例

事例1: 一宮市立千秋東小学校

導入の背景

今の時代に適したキャリア教育をどのように取り組むか手探りの 状態であり、校長会にて紹介のあった本プログラムを検討した。 プログラム資料を読み、たくさんの職種の話が聞けるのが魅力に 感じ、導入に至った。コロナ禍という点もEdTechツールを活用 した大きな理由であった。



授業での活用方法

5/6年生でGIGAプログラムを実施し、タブレットを活用して個別利用をした。総合の時間で4~5時間を割き、プログラムを実施。

今後6年生から5年生に向けて、受講した内容のプレゼンテーションを実施する予定。

(さらに6年生は図工の時間に「12年後の私」というテーマで、プログラム内容をいかして、紙粘土の制作活動も行なっている)

実施した感想

意識しないと接することができない職種の話が聞けた点で デジタルの活用が良いと感じた。AIおすすめ機能が面白く、 仕事に対して消極的、希望の職種がない子もAI機能に よってゲーム感覚で取り組めたため導入としてよかった。 こういう見つけ方(AIおすすめ機能)もあるんだと職員も楽 しむことができた。

プログラム実施後、対面のキャリア教育も行ったがこのプログラムで事前学習ができていたので深い質問ができていた。

事例2: 多治見市立南姫中学校

導入の背景

キャリア教育に関して、コロナ禍で例年行っているオフラインの職場体験を実施できるかどうかという課題があった。

今年度EdTech補助金を活用でき、予算をかけずに実施可能と知り、まずは無料で実施してみて、次年度以降のキャリア教育をどのようにしていくか検討したかった。



授業での活用方法

生徒一人ひとりのタブレットを活用し、個別にそれぞれがプログラムを実施した。

実施時間に関しては、総合的な学習の時間内で2時間。 さらには、宿題での利用も行なった。

自身の興味のある職種や業種についての調べ物という位置付けで行うことができた。

実施した感想

普段接することのない職業の話を聞くことができ、子ども たちが自分の興味に応じて自由に調べられるところが良い と感じた。

結果的にオフラインの職場体験も実施することができたが、 EdTechを活用したこのプログラムはいろんな職種の話を 聞くことができる点がよく、次年度も続けていきたい。

導入前のサポート

- コールセンターによるサポート(365日)
- 各教育委員会ごとに責任者の配置
- 各学校担当者による各校個別サポート

導入期間中のサポート

導入前と同様のサポートに加え、希望校を対象にした 以下サポートを実施

- 授業中におけるBlueberry担当者からの直接講義
- より学習効果を高めるイベント型講義の実施

活用時のサポートとして、各教育委員会や学校において個別にサポート体制を整備。

弊社担当者が各学校ごとについており、準備期間を含め定期的にご連絡し、不明点がないか、実施における問題点がないかなど細かくヒアリングをしつつ、サポートを行いました。また他の地域や学校であった事例などをその都度資料をアップデートして他の現場へ伝えることでより良い活用ができるようになっております。

受動的支援についても、電話は問い合わせ回線を常時設けており、即座に対応できるようになっております。メール・電話・Web会議・訪問などリクエストに応じた様々な形で365日体制でサポートしており、緊急度に応じて個別に対応できるよう支援を行ってきました。

学校等設置者

9

愛知県一宮市教育委員会/愛知県豊田市教育委員会/愛知県名古屋市教育委員会/ 茨城県水戸市教育委員会/岐阜県多治見市教育委員会/千葉県市原市教育委員会/ 東京都葛飾区教育委員会/栃木県宇都宮市教育委員会/福岡県久留米市教育委員会

学校等教育機関

98

一宮市立葉栗小/一宮市立西成小/一宮市立瀬部小/一宮市立浅野小/一宮市立丹陽小/一宮市立丹陽南小/一宮市立浅井南小/一宮市立浅井北小/一宮市立七和東小/一宮市立奥小/一宮市立萩原小/一宮市立中島小/一宮市立千秋小/一宮市立富士小/一宮市立西成東小/一宮市立浅井中小/一宮市立千秋東小/一宮市立起小/一宮市立三条小/一宮市立朝日東小/一宮市立朝日西小/一宮市立開明小/一宮市立大徳小/一宮市立黒田小/一宮市立中部中/一宮市立南部中/一宮市立浅井中/一宮市立大和中/一宮市立今伊勢中/一宮市立奥中/一宮市立萩原中/一宮市立千秋中/一宮市立西成東部中/一宮市立尾西第二中/一宮市立尾西第三中/一宮市立木曽川中/多治見市立養正小/多治見市立精華小/多治見市立昭和小/多治見市立小泉小/多治見市立池田小/多治見市立市之倉小/多治見市立滝呂小/多治見市立南姫小/多治見市立根本小/多治見市立北栄小/多治見市立協之島小/多治見市立笠原小/多治見市立立の南ヶ丘中/多治見市立北陵中/多治見市立市立一東ヶ丘/多治見市立立京中/多治見市立北陵中/多治見市立市東中/多治見市立笠原中/豊田市立若林西小/久留米市立諏訪中/久留米市立筑邦西中/宇都宮市立陽南中/久留米市立京町小/久留米市立山川小/久留米市立前東中/大宮市立一島小/葛飾区立柴原小/市原市立大風台小/市原市立市東第一小/市原市立有秋東小/市原市立五井小/市原市立白幡小/市原市立千種中/市原市立市東中/水戸市立三の丸小/水戸市立五軒小/水戸市立浜田小/水戸市立寿小/水戸市立列川小/水戸市立渡里小/水戸市立吉田小/水戸市立酒門小/水戸市立石川小/水戸市立飯富小/水戸市立河和田小/水戸市立上中妻小/水戸市立見川中/水戸市立千波中/水戸市立千波中

■ EdTechツールによる活用効果

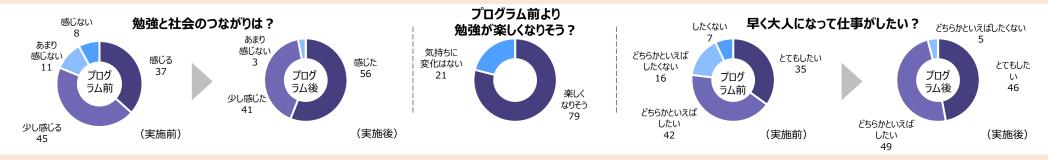
実施前後の定量評価

(単位:%,数値は四捨五入,N=3479)

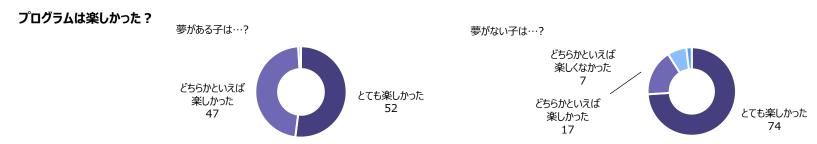
①現在の子どもたちの学びとキャリアや夢について調査し、夢がある子どもとない子どもによって、目標への努力や勉強の楽しさが異なっており、 周りに尊敬する大人がいるかと夢の有無にも大きな相関がある結果となった



②本プログラムを実施することで、学びと社会のつながりの感じるとともに、勉強や将来へのモチベーションが高まる効果があった



③また、夢がないと答えた子どもたちにとってもより楽しいプログラムとなる結果となり、 将来の夢の有無に関わらず有用なプログラムであることが分かった



生徒コメント抜粋

聞いたことのない職業や、知らない仕事がたくさんあって楽しかった。(小5)

かっこいい仕事についている人たちも自分たちと同じ小学生だったという内容が面白かった。(小6)

進路について考える上でとても参考になりました。世の中には知らない世界がたくさんあるということを感じ、自分の興味のある世界を見つけたいと思いました。(中2)

教員コメント抜粋

導入までは、タブレットの活用など心配なことも多かったが、 実際には生徒たちが自ら進んで活用しており、ICTを使わないと実現できないとても有意義なプログラムだと感じた。 (小学校 学年主任)

コロナ禍において、とても重宝するプログラムでした。 また生徒だけでなく教員たちもワクワクするプログラムで、 私自身も学び続けなくてはいけないと感じました。 (小学校 教務主任)

AI診断という切り口がとても面白かったです。生徒たちが楽しみながらキャリアについて考えるいい機会となりました。 ぜひまた活用させていただきたいです。 (中学校 担任) ■ EdTechツールの導入・運用における課題とその改善策

課題

通信環境について

・ 学年の全生徒が同時利用をすることで、学校側の Wi-Fi環境が対応できないことがあった

端末環境について

- イヤホンがなくて使いづらいという事例があった。
- ・ 学校によって自宅での使用に制限があった

その他

・ 学校や先生によって、ICT使用頻度等に差があり、 想定よりも多くのサポートが必要であった

解決策

- プログラムのデータサイズの軽量化に努める 教育委員会と連携し、通信環境を向上していただく
- 事前に確認し、購入していただく
- 校内のみでの実施か、自宅学習を含むかに応じた 授業案を提案する

FAQページの設置など、工数削減につながる取り組みや、 説明会の拡充などを行う



会社名

株式会社Blueberry (ブルーベリー)

資本金

2,000,000円

売上

40,000,000円

代表者

代表取締役 柴田涼太郎

本社

岐阜県多治見市昭和町18

HP

https://blue-berry.org



おかげさまでBlueberryは 経済産業省主催 第11回キャリア教育アワードにて 最優秀賞・経済産業大臣賞を受賞いたしました。